

四方八方ドイツ グーテンベルク

東京都支部 村上まゆみ

昔ゲーテ街道とベルリンを放した時、ゲーテゆかりのワイマールがパウハウス発祥の地であり、昼食のため立ち寄ったデッサウのパウハウス・キャンパスが、モダンデザイ

インの源流であること知りました。短い滞在時間でしたが、1926年落成したデッサウ校舎の壁面を覆うガラス製カーテンウォールが印象的で、今も脳裏に蘇ります。

2019年に開校100周年を迎えた造形学校パウハウスを回顧する展覧会や出版物を、2019年から2020年に掛

2020 夏 道志の湯と山中湖から富士山撮影行

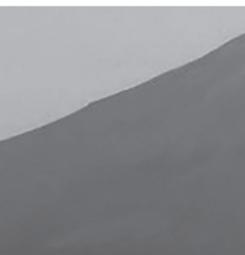
田添 正

2020年夏は、コロナ禍で富士登山をはじめ多くのイベント中止や自粛が相次いだ。その影響もあり、約50年続けていた国内外の登山活動を引退することにしました。そこで8月20・21日に、車で気軽に

に行ける山梨県道志の湯オートキャンプ、そして山中湖へ早朝の富士山撮影にかけた。

道志村は、標高650メートルと夏でも涼しく、日本で一番キャンプ場の多い村と言われている。久しぶりのキャンプは大

自然の中ということもあつてか熟睡でき、早朝3時半に起床した。朝食後、4時半に山中湖に向けて車を走らせた。5時過ぎに山中湖村平野に到着



が続けられ、モダニズム建築のランドマークとして2011年世界遺産に登録されました。依頼主バンシャイトとグロピウスは労働者の環境を改善したいという思いで、一致し、古典建築の無駄な装飾を廃し、合理的で明るい衛生的な工場を建設しました。

1925年パウハウスがワイマールから工業都市デッサウへ移転します。初稿はスチールパイプと布を使用した斬新なアイデアであり、1928年のカンテイルパイプが持つ弾力性に目を付けた作品です。20世紀初頭のデッサウ校舎の壁面を飾るB&HESの7文字は、ヘルベルト・バイヤーによる簡潔で標準的な文字です。彼の文字を入れた日

の前でポーズをとり、「白鳥の湖」を演出してくれました。駐車で、ポイ捨てしたゴミを片付けている人を見かけたので、声をかけたところ、「私はアメリカ人です。昨日まで神奈川県藤沢市江ノ島の知人宅に滞在し、江ノ島のゴミを片付けていた」と言

う。私が藤沢市在住で、昨日江ノ島にいたと話すとお互いに江ノ島の写真を見せ合い、共通する話題で意気投合した。約2メートル下の湖畔に身を振り手振りて心が通じ

ることを体験した。今回は、車で移動し、行き帰り2日間、温泉に入り富士山を撮影した。その後、同年11月18・19日には、同じコースで、山中湖から紅葉と富士山を撮影した。熟年の皆さん方には是非勧めたいコースです!

本人留学生山脇蔵の「コラージュ」パウハウスへの「打撃」は、パウハウス閉校当時の時代背景をよく表現しています。1919年のワイマール憲法は、制定当時世界で最も民主的であると言われ、憲法に定められた「緊急命令発布権」によってナチス党の台頭を招き、ドイツ国民の基本的な人権は一時停止となりました。政情不安な空気が漂う中、グロピウスと続く二人の校長は最善を尽くしますが、1932年ベルリンへの移転を余儀無くされます。そして翌年7月教授会が閉校を決定し、パウハウスは結局14年間しか続きませんでした。しかし、1996年「デッサウとワイマールのパウハウスとその関連遺産群」は世界遺産に登録されました。そして100年後の今日まで、無二の造形学校と言われ、その業績が称えられています。その理由を探って見ました。

まず、パウハウス発祥の地ワイマールはドイツ民主主義の中心的存在です。18・19世紀のザクセン・ワイマール公国の君主は、盛んに文人を招聘し文化の花が咲いていま



と共に社会・素材・技術は変わりデザインも変化します。まず「予備教育」で変わらない造形のプロセス・形と色彩の本質など基礎を学んだ後、家具・金属・織物・印刷・陶器等の専門的な「工房教育」へ進みました。マイスターはドイツ人だけでなく、スイス・ハンガリー・ロシア等から招聘され、才能豊かな芸術家が造形的基础を教えました。また、パウハウスの理論を具体化した優秀な学生もユングマイスターとして教育に携わりました。国際色豊かな人材が協力し合ったからこそ、人間の真の物理的・精神的必要を理解して、人々にとって有益なもの、美しいものを創造する事が出来たと思えます。

第三に、初代校長グロピウスが学校経営者として先見の明を持ち、時代のニーズに答えた人だった点です。デッサウ校舎では「すべての技術的・美的・商業的要求を満たす典型形式を創造する」という彼の理念を実現させました。すでに彼は1909年、住宅建築を規格化する利点を述べ、工業や商業との連係を考えています。彼の時代には実現しませんでした。プレハブのユニット住宅は現在世界中で普及しています。機が熟すると、彼はパウハウスの綱領を見直し「工業との連携」を推進しました。陶器・金属・家具・織物・壁画等の各工房では「工業のための原型」作りを目指します。

次に、協同して芸術を目指すというパウハウスの理念があります。時代

このような情勢の中、大公立工芸学校を引き継いだグロピウスは、美術学校を合併して国立パウハウスという名の造形学校を設立しました。

次に、協同して芸術を目指すというパウハウスの理念があります。時代

次に、協同して芸術を目指すというパウハウスの理念があります。時代

日本大学通信教育部 大学院総合社会情報研究科

通信教育部長 総合社会情報研究科長

川又 祐

事務局長

瀬川 一之

〒102-8065 千代田区九段南四一八二八 電話 〇三二五二七五八九〇一

鈴木 勝

日本大学校友会 副会長 日本大学通信教育部校友会 会長

〒195-0062 東京都町田市大蔵町二九四五一三三 電話 〇四二一七三六〇三三四 FAX 〇四二一七三六〇三三四 携帯 〇九〇七二七五八三三三

脇岡 堅一

日本大学校友会 副会長・総務部長 日本大学通信教育部校友会 相談役 埼玉県支部 顧問 日本大学校友会埼玉支部 常任幹事

〒344-0064 埼玉県春日部市南二四一四一六 電話 〇四八七三七八一七三〇

鈴木 孝司

日本大学校友会 常任委員 日本大学通信教育部校友会 副会長・渉外部長 日本大学経済学部校友会 幹事長代理 目黒日本大学中学校・高等学校 評議員

〒350-0158 埼玉県北本市川島町伊草三三四一四 FAX 〇四九二二九七三六二八

北村 周之

日本大学校友会 常任委員 日本大学通信教育部校友会 副会長・幹事長 日本大学経済学部校友会 幹事長代理 目黒日本大学中学校・高等学校 評議員

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町六一三四 携帯 〇九〇一六二一五二六五二